

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 8 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 6 月 14 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	国立政治大学(日本語名) 國立政治大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/ 英語・中国語
留学期間	2026 年 2 月～2026 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 社会科学部政治学科 現地言語での名称: 社會科學院政治係 ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～1 月中旬 2 学期: 2 月の中旬～6 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	16000 人
創立年	1927 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (台湾ドル) (1 現地通貨 = 5 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため、明治大学の学費のみで現地の学費がかからない
宿舍費	10000	50000 円	
食費	35000	180000 円	
図書費	800	4000 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	4930	25000 円	
現地交通費	8000	40000 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	3000	15000 円	
旅費(留学中)	15000	75000 円	
被服費	3000	15000 円	自分渡航したのは 2 月だったが、まだ 2 月は冷え込むので長袖持参した方がいい
医療費	0	0 円	
保険費	11500	56000 円	形態:
渡航旅費	11000	55000 円	
ビザ申請費	1800	9200 円	ビザの延長申請時に 300 円かかる
雑費	3000	15000 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	107030 (=524200 円)	524200 円	
総計(A+B) ※円		1,048,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：神戸 目的地：桃園 経由地：

復路 出発地：桃園 目的地：関空 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：スターラックス
料金：55000 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： HIS)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からの斡旋

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分のルームメートは全員日本人であったので快適に生活できた。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジを登録をしていたので、現地の危険地帯の情報が常時メールで送られてくるようになっていて、それで情報収集していた。盗難などの犯罪に巻き込まれたことは一度もないが、人が多い夜市や九分などの観光地では注意が必要。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

台湾は、IT 先進国なのでネットが不安定になることがほぼなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

自分は、口座の開設をせずに、クレジットカードキャッシングを利用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

コンタクトレンズ・常備薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 25 単位まで履修可能	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
當代台灣電影, 文化與社會	現代台湾映画、文化と社会
科目設置学部・研究科	華文博程
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	林庭瑩教授
授業内容	基本的に英語で授業が実施される。台湾の映画を用いながら、1980 年代や 90 年代の台湾の社会問題や様子を紐解いていこうという内容の授業。毎回の授業で映画を鑑賞した後ディスカッションがある。グループ活動が基本で、そのグループで 3 回ほど台湾の映画を題材としたプレゼンテーションをする必要がある。
試験・課題等	プレゼンテーション、出席点、ディスカッションの発表による加点
感想を自由記入	一度も台湾に来る前までは、台湾の映画を見たことはなかったが、意外と映画によって台湾の歴史や社会について理解できるんだなと思って台湾についてより理解を深めたい人にはおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
台湾歴史と文化		台湾の歴史と文化
科目設置学部・研究科	台文所	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	曾士榮教授	
授業内容	英語に講義形式で、台湾の植民地時代から現代政治のところまで幅広く取り扱ってくれる授業。期末には、自分で台湾や東アジアをテーマとしたエッセイを提出する必要がある。	
試験・課題等	期末にレポートを提出、レポートの提案書の提出とそのプレゼン	
感想を自由記入	台湾来る前までは、台湾の歴史はオランダに統治されたなどという断片的な知識しかもっていなかったが、統治時代に先住民はどんな扱いを受けていたのかまで説明してくれるので、台湾の歴史の深層まで学びたい人にはお勧めです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
華語-密集班聴力、口説、閱讀、寫作課程		中国語集中クラス
科目設置学部・研究科	華語中心	
履修期間	一学期	
単位数	12	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 4 回	
担当教授	吳孟盈老師	
授業内容	1 日 3 時間の授業で、集中的に中国語の 4 技能を向上させていく授業。	
試験・課題等	エッセイ、プレゼン、中間試験、期末試験	
感想を自由記入	中国語が入国したときは、まったくというほどできなかったが、先生の教え方が上手くて、特に話す練習が多いので会話力とリスニング力が伸びたかなと思います。受けている生徒の国籍がヨーロッパからアジア圏と幅広いので、いろんな国籍の学生の友人が欲しい人にもおすすめです。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ・ワンキャリア

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	HSK4 級取得
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	健康診断、航空券予約
留学開始年	1 月 ～ 3 月	渡航
	4 月 ～ 7 月	帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学先として台湾を選択した理由は、単なる語学の修得にとどまらず、台湾が持つ独自の歴史的背景、文化の多様性、そして「台湾人としてのアイデンティティ」の変遷を肌で感じ、深く探求したいと考えたからである。台湾は清朝、日本統治時代、そして戦後の国民党政権から現代の民主化へと至る過程で、極めて複雑かつ豊かな歴史を積み重ねてきた。特に伝統的な「繁体字」を今なお守り、独自のカルチャー（映画や音楽、芸術など）を発信し続ける姿勢に強い魅力を感じていた。また、日本との歴史的・経済的な結びつきが非常に強く、親日的で治安も極めて安定しているため、初めての長期海外生活であっても学問に100%没頭できる環境が整っていると確信したことが、台湾を選んだ決定的な理由である。

台湾の中に数ある大学の中で、特に国立政治大学（政大）を志望したのは、同校が政治、経済、国際関係、人文学といった文系・社会科学分野において台湾最高峰の実績と名声を誇る名門校だからである。質の高い語学教育（華語文教学中心）を受けられることはもちろん、現地の学部生が履修する専門性の高い講義や、英語で開講されるグローバルな科目が豊富に揃っている点に強く惹かれた。

実際にキャンパスに足を踏み入れて実感したのは、現地学生の圧倒的な学問への熱量である。試験期間のみならず、日常的に図書館が満席になるほどの緊張感と高い意識を持つ仲間に出会うことで、自身を厳しく律し、学問的視野を広げられると考えた。また、台北市文山区という緑豊かで落ち着いた環境に位置し、キャンパスから周囲の山々や台北101を望める絶妙な立地も、集中して研究や学習に取り組む上で最適な環境であると感じ、政大への留学を決意した。

円安や治安面の考慮から、留学を希望する学生が世間的に減少傾向の中で初めての海外留学に不安を持つ学生にとっては台湾という日本に比較的文化的にも近い環境は学習面でも生活面でも日本人にとって最適な環境であると思う。